

一般質問(3)



「おはなし しましよ」 北原児童館にて

調布保谷線はどうなるのか？ 西東京のまちづくりへの影響は？

保谷 七緒美(生牛)

調布保谷線の建設がすすんでいるが、溢水が多発する現状を考えると、既存の道路との高低差が気になる。また、富士街道との接合はどうなるのか。 答弁 現時点では答えられない。調布保谷線を西東京市にとって望ましいまちづくりにしていきたいことを大原則として確認すべきだ。また、周辺住民に具体的な情報を早く知らせるべきと考え、市長の考えを問う。 答弁 道づくりとまちづくりは運動させるべきと考え、情報提供については、協議のノーマルな形で再開に向けて努力したい。 答弁 放置自転車対策の指導・整理はシルバー人材センターに委託しているが、マニュアルをつくらせてほしいという要望が働いている方の中から出ていくと聞く。これをどう受けとめるか。 答弁 委託の仕様書にマニュアルの設置は義務づけられている。 答弁 早急にマニュアルをつくるべき。 南入経塚跡の保存 特別支援教育を支援する仕組みづくり

非核平和事業の更なる推進を 市民参加条例の検証は市民参加で

渡辺 喜博子(生牛)

市民参加条例の検証 市民参加条例を市民が活用しやすい制度にするために市民参加で検証せよ。 答弁 検証の時期に来ているが、市民参加での手法は今後の検討課題としたい。 答弁 条例を市民とともに育てていくために、市民との協働での検証を実施せよ。学校選択制 答弁 制度の成果と課題は一定の評価を受けているが、受け入れ枠の差と締め切り後の転入者への対応が課題である。 学力調査 答弁 学校の序列化につながる学校ごとの正答率公表は行つた。結果による予算

環境と人権を守り 安心して暮らせる西東京に

森下 典子(生牛)

緑の基金、市民公募債 答弁 生産緑地等の買い取り計画の進捗状況と、資金調達の方策について尋ねる。 答弁 既存公園の配置の検証を行い、公園緑地の適正配置方針案をまとめた。庁内調整を行った後実施計画に位置づけ、計画的な確保に向けて努力する。合併特例債とまちづくり整備基金を当面は運用する。緑化基金、公募債については引き続き生ごみ、剪定枝リサイクル事業の今後 答弁 学校給食に地場野菜を納入している農家など、地域の農家を核とした小さな単位のモデル事業を実施



「ボールといっしょ」 北原児童館にて

小児救急医療体制は急務な課題 市内の医療機関で開設を！

桐山 ひとみ(民主)

石川島播磨重工業跡地について 「徳洲会病院」における小児救急医療体制の整備に期待できるか。 答弁 協定書案の中にも小児医療に関する項目がある。地域の小児医療システムを一端を担うこと、救急医療に24時間対応の小児救急を確保すること、という2つの重要な項目も入っている。全国的に小児科医師不足で、徳洲会病院側から納得できないような回答を現段階ではいただけないが、平成21年3月を目途に病院

安全・安心まちづくりニュースの 情報提供と積極的な広報を！

二木 孝之(民主)

田無警察署から配信されている「安全・安心まちづくりニュース」は、田無警察署へ登録申請すること、ひたたくり、空き巣振り込み詐欺などの犯罪発生情報を、平日は毎日、パソコンや携帯電話・メール配信してもらえる。市も積極的にPRしたい。 市長 市では広報紙、田無警察署と市の防犯担当者が出席する防犯座談会、出前講座などでPRをしている。現在、約900名の登録がある。 答弁 福祉会館や庁舎に情報掲示板を設置し、1週間ごとのニュースや登録方法について情報提供に協力しよう。都営住宅の跡地利用

市民の視点に立ったより効率的で 効果的な行政運営を追求せよ！

山崎 英昭(民主)

市民のためのより効率的で効果的な行政運営を追求し続ける必要がある。 答弁 これからの行政運営に市民参加と協働は不可欠。無作為抽出の市民討論会など行政からの積極的な働きかけや情報公開が必要だ。 答弁 民間活力を取り入れ、適正規模の行政組織づくりや定員管理に努める。 答弁 西東京市に合った効率的で目的志向の行政組織をゼロベースで構築し直す必要がある。

組織の再編、行政の信頼性及び 危機管理、管理の一元化について

猪野 滋(市公)

平成19年7月公表予定の組織再編の理由と、そのイメージを示せ。 答弁 政策本位の事業分野別で成果重視の行政経営を目標とし、機能的な組織構築の見直しが必要と考える。 答弁 行政に間置いたくないのが国民・市民が行政を信頼する基本であると言われている。その基本を覆すような事件・事故が多発している。事件・事故の発生抑制のための行動が行っているのか。 答弁 プールの事故、耐震

総合計画、地域経営戦略プランの見直しについて

相馬 弘私(市公)

合併して6年が経過を、合併特例債事業もあと4年というところになる。19年度、20年度に行う総合計画、地域経営戦略プランの見直しについて市長の基本的な考え方はどうか。 答弁 総合計画の見直しは社会経済情勢の変化や基本計画事業の評価、市民ニーズなどを踏まえ、市民参加の手法を最大限取り入れな

介護保険給付の適正化を図れ

中田 恵美子(公明)

一部介護サービス事業者等による介護報酬等の不正請求や不正受給が全国的に年々増加している。訪問介護サービスの利用者にヘルパー専用のタイムカード読み取り装置を設置し不正請求等の防止を図るべきである。見解を問う。 答弁 先導自治体の取り組みに注視し、調査研究する。 答弁 住基カードの利用者が少ない。新潟県柏崎市では、住基カードの空き領域を利用して、避難者確認システムを追加した。避難者

高次脳機能障害者の支援に全力を！ 日中独居の高齢者に福祉を！

小橋 勝己(公明)

日中独居の高齢者、いわゆる「1人」になってしまつた高齢者が福祉サービスの活用を阻んでいる。具体的施策を問う。 市長 検討し、具体的な施策に結びつけていきたい。 答弁 高次脳機能障害者の支援構築に全力を尽くせよ。 市長 社会的認知度も低く、他の障害に比べ対応も遅れている。障害には丁寧な対応を。 現在ある施設を改善活用し 市民サービスの向上を！ 若越 筆子(公明)

現在ある施設を改善活用し 市民サービスの向上を！

若越 筆子(公明)

介護予防対策の具体的取り組みについて 答弁 要介護者が機能訓練で少しでも自力で生活ができるよう段階ごとのサービスの情報提供と横断的なサポートが必要である。建て直し 地域と行政が一体となつて子どもたちの安全に全力を尽くせよ。 答弁 市の文化政策への取り組みを示せ。 答弁 組織の中でどう構築していくか検討したい。 答弁 公共施設に市民が使える無線LANの設置を。 答弁 環境整備に努めたい。

西東京市は通学路の子どもたちや 市民を交通事故から守れ！

新井 五郎(公明)

向台東通りは通学路に指定されていますが、交通規制が守られず、通学時間帯にもかかわらず多くの車が通行し、雨の時には車が接触する状況が頻発して危険です。車は少し時間をかければ別の道路を利用できます。車の規制を強化すべきと提言します。 答弁 通学路の指定に法的根拠はなく、通学路周辺の居住者の車も入り難い。 答弁 旧た77号線と旧た130号線(南町6、3の角)に信号機の設置を求めます。10月8日にセタンとポックスカーの衝突事故が発生しました。ポックスカーが横転するという激しい事故と転

どんな「いじめ」も絶対許さない 「いじめ・不登校」問題の対策を

佐々木 順(公明)

ある有名な識者は、「いじめはひきょうな暴力であり、どんないじめも許さない」という強い意志が大人には必要である。そして、いじめは「いじめ」の側が100%悪い」と断言しています。この「いじめ」不登校問題は、大人の責任として、教育委員会として、現状認識と具体的な対応策についてお伺いいたします。 答弁 平成17年度の調査でいじめは小学校5件、中学校8件。不登校は、本年度9月の報告で、年間30日以上欠席者が小学校13名、中学校81名います。 いじめ問題の対応については、例えば、スクールカ



食事の支度(訪問介護)

るものだ。当市においても利用者が活用しやすいよう取り組むべきではないか。 答弁 住基カードの発行増に向けて努力している。今後活用方法を検討する。 答弁 青色防犯灯の導入は、色彩効果で犯罪抑制の効果を上げていく。青色防犯灯は他の色に比べ感情を静め、農作物に光害などの被害が少ないと報告されている。 答弁 青い防犯灯設置は、徐々に全国的に広がっている。住民の防犯意識向上にもつながると思われる。今後調査研究をしていく。 市長 学校の施設以外の施設においてのモデル事業だ。委託しても公立の位置づけは変わらず。入会申請、育成料徴収は市が行う。 答弁 犯罪根絶への決意と現状を問う。 市長 無関心の方があまりにも多い。防犯力のアップが重要だと思ふ。 答弁 学校教育における教育相談者の問題解決のため、学校との連携は密に。 教育長 きめ細かに行われている。 運動ができるような器具を設置できないか。 答弁 小さい公園については、一層の適正化に努めていく。高齢者の健康管理の視点は要望が多い。 答弁 保護者負担軽減のため卒業対策費の補助の復活を。 答弁 小学校・中学校ともに学校によつてはばらばらの負担額となっている。卒業時の経済負担は大きい。アルパム代助成を復活できないか。 答弁 各学校の歴史・特色による判断は学校に任せている。(アルパム代助成復活について答弁なし)

をハードとソフトに分け、ハードについては情報推進課と一体で運営すべきと考えるがどうか。 答弁 システムの最適化について庁内で検討中であり、運営の一体化についても十分議論を行い、検討する。 答弁 地域と行政が一体となつて子どもたちの安全に全力を尽くせよ。 答弁 市の文化政策への取り組みを示せ。 答弁 組織の中でどう構築していくか検討したい。 答弁 公共施設に市民が使える無線LANの設置を。 答弁 環境整備に努めたい。

から作業に着手する。 答弁 後年度負担となる特別債への市長の評価は、またさまざまな市民ニーズの中で政策の優先順位は。 市長 特別債は未来への投資として節度ある活用を考へる。重点施策はパランスのとれたグレードの高い都市環境を目指していきたい。 答弁 雨水排水管として日特管が65年前に敷設をされ